

令和5年度 南信州民俗芸能継承推進委員会

次 第

日時：令和5年5月18日（木）13時30分

場所：飯田合同庁舎 3階講堂

1 開会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 第1号議案 令和4年度事業報告

(2) 第2号議案 令和4年度決算報告

(3) 第3号議案 令和5年度事業計画（案）

(4) 第4号議案 令和5年度予算（案）

4 その他

5 閉会

～～ 閉会后 ～～

- ・ 総会
- ・ 事例発表会
- ・ 意見交換会
- ・ 終了

1 南信州民俗芸能ファンクラブの運営

- ・メールマガジンの発行 登録者 133名
- ・SNS への記事投稿

Facebook フォロワー 1,077名

Instagram フォロワー 386名

Twitter フォロワー 497名 (いずれも3月末現在)

- ・加入促進 (繋がり創出イベント時にチラシ及びノベルティグッズを配布し啓発)

※令和3年度に立ち上げたファンクラブの拡大、内容の充実

2 南信州民俗芸能パートナー企業制度の運営

(1) パートナー企業協賛事業の実施

協賛事業①

第1回南信州民俗芸能フェスティバル

風流踊ユネスコ無形文化遺産登録記念大会

(2月26日(日)、阿南文化会館)

観客約300名、演者約60名

講演 ユネスコ無形文化遺産登録をどう活かすか

國學院大學教授 小川直之先生

解説 南信州の風流踊

南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー 櫻井弘人先生

芸能上演 跡部の踊り念仏、和合の念仏踊り、新野の盆踊り



協賛事業②

令和5年度南信州民俗芸能カレンダー制作（2月末発行）

形態 B2判ポスター型

発行数 2,500部

配布先 文教施設、役場、パートナー企業、
フェスティバル来場者等

掲載内容 民俗芸能行事日程、フォトコンテスト入賞作品



(2) パートナー企業の活動支援

飯田信用金庫主催行事「南信州の民俗芸能を知る」(11月3日)への協力(共催)



(3) パートナー企業意見交換会 (11月29日(火)・30日(水)、飯田合同庁舎)

参加数: 13企業・団体、延べ25名

3 繋がり創出イベントの実施

(1) 未来の担い手づくりイベント (11月3日(木・祝)、飯田市街地)

参加者数 約50組200名

- ・獅子舞折り紙を作るワークショップ
- ・獅子舞デザイン紙製サンバイザーの配布



(2) 第5回伊那民俗研究集会「民俗と食文化」(8月20日(土)・21日(日)、ムトスぶらざ)

伊那民俗学研究所との共同開催

参加者数：1日目30名、2日目29名、延べ59名

※ただし、インターネットライブ配信視聴者数は含めない。



(3) 第1回南信州民俗芸能フェスティバル(再掲)

(4) パートナー企業意見交換会(再掲)

(5) 首都圏出張公演、県内出張公演

新型コロナウイルスに配慮し開催中止

4 民俗芸能資産化事業

・清内路煙火等資産化事業報告会(9月3日(土)、県文化センター)

平成29年～令和元年度にかけて実施した清内路煙火等資産化事業の報告会

YouTubeによるライブ配信及び飯田ケーブルテレビ、阿智村ケーブルテレビの番組制作を実施

参加者数：70名 ただしインターネットライブ配信の視聴者は含めない。



5 啓発広報

・新聞、フリーペーパー等への啓発広告の掲載

・情報発信サイト「南信州民俗芸能ナビ」の新コンテンツ作成(風流踊)等

南信州民俗芸能継承推進協議会
令和4年度収入支出決算書

収入総額	5,178,620 円
支出総額	4,900,446 円
差引残額	278,174 円 (次年度繰越)

収入の部

(単位:円)

区 分	当初予算額	流充用額	予算現額	決算額	比 較	摘 要
1. 繰越金	100,787	—	100,787	100,787	0	前年度繰越金
2. 補助金	2,400,000	—	2,400,000	2,400,000	0	県補助(元気づくり支援金)
3. 負担金	1,000,000	—	1,000,000	500,000	▲ 500,000	南信州広域連合負担金
4. 寄付金	99,213	—	99,213	677,833	578,620	パートナー企業からの寄付金
5. 借入金	1,500,000	—	1,500,000	1,500,000	0	南信州広域連合からの借入金
合 計	5,100,000	—	5,100,000	5,178,620	78,620	

支出の部

区 分	予算額	流充用額	予算現額	決算額	残 額	摘 要
1. 協議会助言者経費	300,000	▲ 100,000	200,000	142,310	57,690	アドバイザー謝礼
2. 情報発信・啓発活動経費	900,000	380,000	1,280,000	1,222,831	57,169	風流踊情報発信、カレンダー制作等
3. 意識醸成経費	1,300,000	482,000	1,782,000	1,781,979	21	民俗芸能フェスティバル開催等
4. 担い手確保・人的支援経費	1,000,000	▲ 762,000	238,000	228,554	9,446	未来の担い手づくりイベント、出張公演中止
6. 借入金返済	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0	南信州広域連合からの借入金の返済
7. その他経費	100,000	0	100,000	24,772	75,228	振込手数料等
合 計	5,100,000	—	5,100,000	4,900,446	199,554	

会計監査報告書

令和4年度南信州民俗芸能継承推進協議会収入支出予算の執行状況について、関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査したところ、適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

令和 5年 5月 11日 監事

熊谷 邦子 加印

パートナー企業からの寄付 一覧

1 南信州民俗芸能フェスティバル開催及びカレンダー制作に係る寄付

順不同 (円)

協賛企業名	金額	協賛企業名	金額
中日本高速道路株式会社 飯田保全・サービスセンター	200,000	クロダ精機株式会社	10,000
小林製袋産業株式会社	30,000	小池建設株式会社	10,000
株式会社南信州観光公社	30,000	興亜エレクトロニクス株式会社	10,000
飯田精密株式会社	20,000	株式会社三六組	10,000
小木曾建設株式会社	20,000	山京インテック株式会社	10,000
夏目光学株式会社	20,000	信菱電機株式会社	10,000
旭松食品株式会社	10,000	多摩川精機株式会社	10,000
株式会社アド・ブレーン	10,000	中部電力パワーグリッド株式会社飯田営業所	10,000
飯田エフエム放送株式会社	10,000	株式会社豊本	10,000
株式会社飯田ケーブルテレビ	10,000	株式会社長野銀行	10,000
飯田商工会議所	10,000	長野県商工会連合会 南信州支部	10,000
学校法人高松学園 飯田女子短期大学	10,000	日本郵便株式会社 南信南部地区連絡会内郵便局及び飯田郵便局	10,000
飯田信用金庫	10,000	野島建設株式会社	10,000
伊藤製菓有限会社	10,000	株式会社八十二銀行	10,000
株式会社エージェンシー広宣	10,000	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	10,000
株式会社尾畑組	10,000	マルマン株式会社	10,000
勝間田建設株式会社	10,000	株式会社南信州新聞社	10,000
金本建設株式会社	10,000	みなみ信州農業協同組合	10,000
喜久水酒造株式会社	10,000	社会医療法人栗山会飯田病院	10,000
北沢建設株式会社	10,000	株式会社NTT東日本-関信越 飯田営業支店	10,000
神稲建設株式会社	10,000		
計 41事業所			670000

2 自動販売機売上の一部寄付

北陸コカ・コーラボトリング株式会社 (大鹿村道の駅、南信州広域連合事務センター)	※
名糖乳業株式会社 (大鹿村道の駅)	7,833
計 2事業所	7,833

※令和4年度分の寄付金振込予定日が総会後の為翌年度決算に計上。

3 パートナー企業からの寄付 合計

合計	677,833
----	---------

1 南信州民俗芸能パートナー企業制度の運営

- (1) パートナー企業協賛事業の実施
 - ・ポスターカレンダーの制作（フォトコンテスト開催）
 - ・第2回南信州民俗芸能フェスティバル開催
- (2) パートナー企業勉強会

南信州民俗芸能パートナー企業担当者の理解を深めるため勉強会

 - ・支援事例の紹介
 - ・民俗芸能に関する講演
- (3) パートナー企業の表彰について

表彰規定に基づいてパートナー企業へ感謝状を交付する。

2 繋がり創出イベントの実施

- (1) 第2回南信州民俗芸能フェスティバル（時期未定）

地域住民に民俗芸能に親しんでいただくフェスティバル

 - ・芸能上演（地元の継承団体、地元の子どもの芸能、三遠南信圏の団体を招待）
 - ・民俗芸能解説
- (2) 未来の担い手づくりイベント（11/3（金・祝））

飯田丘のまちフェスティバルへ体験・PRブースの出展。
地域の子どもへ地域の伝統文化を印象付ける。

 - ・折り紙獅子舞ワークショップ
 - ・保存会による伝統芸能披露（人形芝居の上演）
- (3) 第6回伊那民俗研究集会（8/26（土）-27（日））

伊那民俗学研究所との共同開催
民俗学研究者の研究発表を通じ、地域の民俗文化の知見を深める
予定テーマ「死・供養と風流芸能」
- (4) パートナー企業勉強会（再掲）
- (5) 市町村教育委員会・団体向け勉強会

文化財保護のための「登録制度」や「補助金制度」について、制度の意義や必要性を理解し地域の無形文化財を守っていくための基盤づくりを市町村で進めていけるきっかけとするための勉強会を開催する。
- (6) 国・県の重要無形文化財登録に向けた取り組みへの支援
 - ・国選択重要無形文化財（清内路煙火）
 - ・県指定重要無形文化財（深見の祇園祭り）

3 番組制作

南信州地域が民俗芸能の宝庫であること理由や、それらを継承していくことの重要性などについて触れ、地域で暮らす住民や、活動する企業、継承する担い手など、それぞれが地域に誇りを持ち、それぞれの役割を認識ができる映像番組を制作する。
地上波の長野県ローカルのテレビ番組を想定。

4 啓発広報

- ・ウェブサイト「南信州民俗芸能ナビ」の管理運営
- ・各種広報紙、フリーペーパー等を活用した啓発広報

令和5年度パートナー企業への表彰について

内部規定

南信州民俗芸能継承推進協議会

1 目的

南信州民俗芸能パートナー企業のうち、南信州民俗芸能に対して優れた支援を行った企業を表彰し、感謝の意を表すとともに、他の企業の支援を促し、地域全体の関心や継承機運を醸成することを目的とする。

2 表彰の種類

南信州民俗芸能に対して優れた支援を行った企業に対して感謝状を交付する。

3 表彰の基準

南信州民俗芸能パートナー企業のうち、次の各号のいずれかに該当する企業に対して行うものとする。

- (1) 南信州民俗芸能継承推進協議会等に対して、総額100万円以上の寄付を行った企業
- (2) 民俗芸能団体の活動に対し、長年継続的に人的支援を行った企業
- (3) 民俗芸能を地域内外に効果的に周知する活動を行った企業
- (4) その他、南信州民俗芸能継承推進協議会長（以下「会長」という。）が他の企業の模範となる支援を行ったと認める企業

4 選定方法

3の基準に基づき、会長が対象企業を選定する。

令和5年度の表彰

- (1) 表彰企業：飯田信用金庫
- (2) 取組内容と評価：令和4年度に地域内で受け継がれてきた民俗芸能を地域と共に盛り上げ、応援しようと「SDGs 民俗芸能応援定期預金キャンペーン」を実施し、国重要無形民俗文化財の保存に取組む14団体に総額100万円を寄付いただいた（表彰の基準（1）に該当）。また、平成30年度から多くの民俗芸能行事のボランティア活動に継続的に取組んでいただいているとともに、令和4年11月には風流踊のユネスコ無形文化遺産登録を見込み、民俗芸能の価値や魅力を知ることができる講演会を含むイベント「南信州の民俗芸能を知る」を主催される等、民俗芸能の保存・継承のため各種取組に尽力いただいている（表彰の基準（3）に該当）。
- (3) 表彰時期：第2回南信州民俗芸能フェスティバル開催時

※（参考）これまでの表彰実績

令和3年度：興亜エレクトロニクス株式会社

令和4年度：なし（表彰基準に該当する企業不在のため）

南信州民俗芸能継承推進協議会
令和5年度収入支出予算(案)会計年度 令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで

収入総額	5,300,000円
支出総額	5,300,000円
差引残額	0円

収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1. 繰越金	278,174	100,787	177,387	前年度繰越金
2. 補助金	2,880,000	2,400,000	480,000	長野県地域発元気づくり支援金
3. 負担金	500,000	1,000,000	△ 500,000	南信州広域連合負担金
4. 寄付金	141,826	99,213	42,613	パートナー企業からの寄付金
5. 借入金	1,500,000	1,500,000	0	民間企業からの借入金(年利2.0%)
合 計	5,300,000	5,100,000	200,000	

支出の部

(単位:円)

区 分	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1. 協議会助言者経費	200,000	300,000	△ 100,000	アドバイザー謝礼等
2. 情報発信・啓発活動経費	1,200,000	900,000	300,000	ファンクラブ運営、啓発広報、カレンダー制作
3. 意識醸成経費	2,000,000	1,300,000	700,000	フェスティバル、伊那民俗研究集会、 パートナー企業勉強会、教育委員会勉強会
4. 担い手確保・人的支援経費	300,000	1,000,000	△ 700,000	未来の担い手づくりイベント
5. 借入金返済	1,530,000	1,500,000	30,000	借入金の返済(元利)
6. その他経費	70,000	100,000	△ 30,000	事務消耗品、振込手数料等
合 計	5,300,000	5,100,000	200,000	

予算の各科目に過不足が生じた場合流用が出来るものとする。

南信州民俗芸能継承推進協議会規約

(名称)

第1条 本協議会は、南信州民俗芸能継承推進協議会（以下「本協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本協議会は、将来に向けて南信州が誇る民俗芸能の維持・継承を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本協議会は、前条の目的達成のため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 民俗芸能の維持・継承に関する事業
- (2) 民俗芸能の後継者育成に関する事業
- (3) 前各号に掲げるもののほか、本協議会の目的達成に必要な事業

(構成)

第4条 本協議会は、次に掲げる組織をもって組織する。

- (1) 伊那谷民俗芸能団体連絡協議会
- (2) 民俗芸能関連住民団体
- (3) 南信州広域連合（総務産業専門部会）
- (4) 飯伊市町村教育委員会連絡協議会
- (5) 飯田市美術博物館
- (6) 長野県教育委員会
- (7) 長野県南信州地域振興局
- (8) 前各号に掲げるもののほか、本協議会の目的の趣旨に賛同する者

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 1名
 - (3) 監事 1名
- 2 会長は、会員の互選により選出する。
- 3 副会長及び監事は、会長が任命する。

(任期)

第6条 役員任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第7条 会長は、本協議会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が欠けたとき又は会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 3 監事は、会計を監査する。

(アドバイザー)

第8条 本協議会にアドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、総会において会長が推挙する。

3 アドバイザーは、学術的観点から本協議会へアドバイスをを行う。

(委員会)

第9条 第3条各号に掲げる事業について、取組みの方向性を検討し具体的な事業の推進を担う組織として、民俗芸能継承推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

2 委員会の委員は、会長が任命する。

3 委員会に次の者を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 委員長代理 1名

4 委員長は、委員の互選により選出する。

5 委員長代理は、委員長が指名する。

(地区推進組織)

第10条 第3条各号に掲げる事業について、各民俗芸能継承の具体的な取組みを實踐する組織として、必要に応じ地区推進組織を置くことができる。

(会議)

第11条 本協議会の会議は、総会、委員会及び地区推進組織とする。

2 総会は、本協議会の最高意思決定機関として、会長が招集し、議長を務める。

3 委員会は、会長の命を受け、会務の企画立案に当たる。

4 地区推進組織は、前条に規定するところにより、地域の実情に応じた取組を検討、實踐する。

(事務局)

第12条 本協議会の事務局は、南信州広域連合に置く。ただし、第10条に定める地区推進組織の事務局は原則として当該市町村に置く。

(経費)

第13条 本協議会の経費は、当面の間、長野県からの補助金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 本協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(補則)

第15条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成27年7月1日から施行する。

(設立年度の特例)

2 本協議会の設立年度における会計は、第14条の規定にかかわらず、平成27年7月1日に始まり平成28年3月31日に終わる。

令和5年度 南信州民俗芸能継承推進委員会 委員名簿

区分	役員	所属(役職)	氏名	委員会	総会	事例発表会	意見交換会	備考
民俗芸能 団体	顧問	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会 顧問 (大鹿歌舞伎保存会 顧問)	片桐 登	×	×	×	×	
	会長	和合念仏踊り保存会 会長	平松 三武	○	○	○	○	
	委員長	大鹿歌舞伎保存会 事務局 大鹿村教育委員会 事務局	北村 尚幸	○	○	○	○	
	委員長 代理	新野雪祭り保存会 会長	勝野 喜代始	×	×	×	×	
		黒田人形保存会 黒田人形座 座長	清水 謙一	○	○	○	○	
		上村遠山霜月祭保存会 会長	山崎 幹男	○	○	×	×	
		南信濃遠山霜月祭保存会 会長	針間 道夫	△	○	○	○	委員会遅参
		坂部大森山諏訪社氏子総代(坂部の冬祭り)	平松 雅隆	×	×	×	×	
行政		飯田市教育委員会事務局 文化財保護活用課長	宮下 利彦	○	○	○	○	
		高森町教育委員会事務局 局長	清水 衆	○	○	○	○	
		阿南町教育委員会事務局 社会教育係長	宮下 善太	○	○	○	○	
		阿智村教育委員会事務局 教育次長	川上 悟	×	×	×	×	
		天龍村教育委員会 教育長	村澤 資憲	×	×	×	×	
		泰阜村教育委員会 教育長	原田 瑞穂	○	○	○	○	
		喬木村教育委員会 事務局長	木下 哲也	×	×	×	×	
		飯田市美術博物館 副館長	牧内 功	○	×	×	×	総会 代理出席
		南信教育事務所 飯田事務所長	石井 克之	×	×	×	×	
		南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課長	保科 宗継	○	○	○	○	
	南信州広域連合事務局次長兼総務課長	小椋 貴彦	○	○	○	○		
アドバイザー グループ (学識経験 者)		國學院大學名誉教授、折口博士記念古代研究所、 柳田國男記念伊那民俗学研究所所長、飯田市美術博物館顧問	小川 直之	×	×	×	○	web出席
		長野県立歴史館特別館長、信州大学名誉教授、 元長野県文化財保護審議会会長	笹本 正治	○	○	○	○	
		東京福祉大学・大学院 留学生教育センター 特任教授、 元文化庁伝統文化課主任文化財調査官	宮田 繁幸	×	×	×	×	
		元飯田市美術博物館 学芸員、 國學院大學兼任講師	櫻井 弘人	○	○	○	○	
事務局		長野県南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課	宮川 留奈	○	○	○	○	
		長野県南信州地域振興局 リニア活用・企画振興課	竹内 志穂里	○	○	○	○	
		飯田市美術博物館 学芸員	近藤 大知	○	○	○	○	
		南信州広域連合事務局 総務課 広域振興係長	壬生 庸佑	○	×	×	×	
		南信州広域連合事務局 総務課 広域振興係	篠田 昇吾	○	○	○	○	